

内は艶消、真珠っ表

放っ元は春の色





が職するかは動下各かられてゐるが、新内閣

物を選んだのは有責務遂行を考する
「後任機裁決定に質り多少無理」
「後任機裁決定に質り多少無理」
「なるて迄大命再降下可能なる人」
「なるて迄大命再降下可能なる人」
「なるで変えがのは有責務遂行を考する。

が實行に着手せんさするものでなった。こ云ふに在り意節の實際が賢と

延長に非すして名割長に容鑑内職ない、新内閣は撃なる齎目内閣のない、新内閣は撃なる齎目内閣のない、新内閣は撃なる齎目内閣のない。

貴族院政友方面の批評

はる事様を地て変 はる事様を地て変 はる事様を地て変 はる事様を地て変 はる事様を地て変 はる事様を地て変 なり対局の前途は ・世の信繁を繋ぎ天下に職きをな まり対局の前途は ・世の信繁を繋ぎ天下に職きをな まり対局の前途は ・世の信繁を繋ぎ天下に職きをな を記してるない以 、映戦か見るであらう。大橋潤口 を記してるない以 、映戦が近の人に使つて はとか繋してもの の移果か見るであらう。大橋潤口 を記してるない以 、映戦が近の名観音を選び を記してるない以 、大きな無理がある、今後繋じて の移来か見るであらう。大橋潤口 を記してるない以 、映戦が近のとに変 を記してるない以 、映戦が近の名観音を選 に大きな無理がある、今後繋じて を記してるない以 に大きな無理がある、今後繋じて を記してるない。 に大きな無理がある、今後繋じて を記してるない。 に大きな無理がある、今後繋じて を記してるない。 に大きな無理がある、一世のは其虚 に大きな無理がある、一世のは其虚 に大きな無理がある、一世のは に大きな無理がある、一世のは に大きな無理がある、一世のは に大きな無理がある。 を表してるない。 に大きな無理がある、一世のは に大きな無理がある。 を表してるない。 に大きな無理がある。 を表してるない。 に大きな無理がある。 に大きな無理がある。 を表して、 に大きな無理がある。 に大きな無理がある。 に大きなに、 に大きななに、 に大きななに、 に大きなな に大きな に大きな

四四の金織なので職職に根常院殿町に関する代、親子の他一般を開する代、親人の郷部的貴族に関する代、親人の郷部的貴族に関する代、親人の郷部的貴族に関する代、親人の郷部的貴族に関する代、和大の他一般特別地の市街施設に関する代、本部へ当務課)で、見意生徒保健増進に関する代、地方、「一、豊富年徒、保健増進に関するで、見意生徒保健増進に関する。

岩槻男の就任

2

結束を保てば

大命再降下

若槻男では

貴族院の批評

九州團體の

反對運動打切り

反若槻運動は消滅

後繼内閣の諸政策

濱口内閣の遂行せる政策を

そのまる踏襲せん

頼母木、櫻内兩幹部が

東京十二日登 政府は總部職に 株立ちて行ふべき政務の處理に就 き手順か進め十一日鈴木書記官会 は暮ら客際際間を発走したが江木 様な赤ひが避職を発走したが江木 様な赤ひが避職を発走したが江木

低する海口機裁「直に同業を励に

首相の容體良好

豫定通り退院出來樣

鹽田博士語る

でで解析され度して報告記載した おもので呼信するから管様に安ん あもので呼信するから管様に安ん

近衞文麿公

園公訪問

(日曜月)

兩幹事首相訪問

若槻男承認を報告

の 「年乳で素たパン、味噌汁、メロ 関院出來るものご思ふが!セ取 に (午後九時)は 「本日午後二時過ぎ第三同手術部 び (午後九時)は 「本日午後二時過ぎ第三同手術部 び (午後九時)は 「本日午後二時過ぎ第三同手術部 び (年後九時)は 「本日午後二時過ぎ第三同手術部 び (本日午後二時過ぎ第三同手術部 び (本日午後一時過ぎ第三同手術部 び (本日午後一時過ぎ第三同手術部 び (本日午後一時過ぎ第三同手術部 び (本日午後一時過ぎ第三同手術部 び (本日午後一時過ぎ第三回手術部 い (本日午後一時過ぎ第三回手術部 い (本日午後日午時間 (本日午後日午時間 (本日午時間 (本日)) 「 (本日)) 「

若槻男首相に挨拶

きのふ病院に親しく訪問して

應諾までの始末報告

問題に就き意見な交換した

『東京十二日愛』民政黨内には後 「東京十二日愛」民政黨内には後 「東京十二日韓部會に於ては郵助 「東くら内閣政武、政務管理」」」を持一金太郎、爆井兵五郎、田 が、存納部會に於ては郵助 が、存納部會に於ては郵助 が、存納部會に於ては郵助 が、存納部會に於ては郵助 が、存納部會に於ては郵助 が、存納部會に於ては郵助 が、存納部會に於ては郵助 が、存納部會に於ては郵助 が、存納部會に於ては郵助 が、存納部會に於った。 を要すると云 が、存納部會に於一次。 を要すると云 を要すると云

治郎、牧山耕蔵、村松恒一郎村二四郎、櫻井兵五郎、田昌、木蔵、溪田敬一郎、八並竹治、木蔵、溪田敬一郎、八並竹治、木蔵、溪田敬一郎、八並竹治、木蔵、溪田敬一郎、八並竹治、木蔵、溪田敬一郎、八並竹治、木

之助服氏を代表でもて容線要に逃 が府の陳容懸度を繋すると云ふに 意見の一致な見、森田茂、前上院 が府の陳容懸度を繋すると云ふに

氏が日本に深遠するに決定し、同時に【上海十二日費】 國民政府教育部は日

しさの調電が發した

關東廳教育

費豫算

内地に衝動を與へた教育問題

地方財政と教育費増加の封策

滿鐵地方事務所

所長會議を開催

けふから三自間本社に於て

議題は相當に廣汎

五、汚物清掃作業フ指導監督に関する件 本部(衛生薬) 大、衛生委員に臀祭官吏以外の計外人を推薦の件 本部(衛生薬)

政務處理

鈴木翰長奔走

濱口總裁は顧問

辭職ご同時に推薦

口

・ 郷口皆様は之で大いに安堵した大 郷口皆様は之で大いに安堵した大

岩槻男を總裁に推戴

滿場

致異議なく承認

ムの民政黨緊急幹部會で

斯くて民政際内の反若機運動は常いのでは、一時や設備した

閣僚政務官の

更迭を進言

森田、前田の兩氏が

若槻男に進言に決す

き語り、何れの同さの間に行はれてゐる治外法権撤級交渉の現狀につ 姓氏は上海において

誠意なき所 良果なし

社

は、日支開常局は誠意を披覆し 関始されんさするさきに際して

勅選議員補充

原田熊雄男

專賣局官制改 正ご人事異動

年 【東京十一日登】郭鬱局の鷹草元 変 職直標に無ひ事業部を販覧、敷 被約の二部に分を從來の三部はを でで、、これに使れば殿敷部に ながっした。これに使れば殿敷部に ながっした。これに使れば殿敷部に ながっした。これに使れば殿敷部に を必っした。これに使れば殿敷部に ながっした。これに使れば殿敷部に を必っした。これに使れば殿敷部に をがっした。これに使れば殿敷部に をがっした。これに使れば殿敷部に をがっした。これに使れば殿敷部に をがっした。これに使れば殿敷部に ででで、まれに使れば殿敷部に ででで、まれに使れば殿敷部に ででで、まれに使れば殿敷部に でででは、 をはずからといい。 ででは、 ででは、

園公に報告 政狀に就て

報告した

東京十二日餐 | 海口民ゥ鷲 | 東京・町 | 東京 北ママに 十七文字に

满鐵工事費

割天引を慫慂

結局五分見當節約か

大塚、九山南 「東京十一日登」短歌崎戦戦 名神光中大総三保原は、丸山南 は松村野城次官を町田農根が、七 は松村野城次官を町田農根が、七 は松村野城次官を町田農根が、七 は松村野城ではたり、東町田農根が、七 は松村野城ではたり、大山南 大塚、九山南

先づ歸朝

交渉打開策打合せに

重光代理公使

安による工質さ材料配節の低下を一當以上の際約は不可能と見てゐるれが能称を徹底せらめるため、(既)はありさするもこの懸鍼底五分見にある然もに經典部にては更にこ。に此し態安による材料工覧の低下にあるため、たさへ設訊見積當時 状勢にては百萬国が至百

を促すさころあり、十一日工事

大引な要求す を促すさころあり、十一日工事部 は左の姫と 14年度事業 理由さして六年度権行・事の各員 さなりこれが事務費に必然される。 14年度権行・事の各員 さなりこれが事務費に必然される

十四萬千餘回さなり州加割合

國、市費三萬八千餘圓、合計

であるが順に地が観珠第に依る五特別會能支媒の数音観は宿の知く 五 公無校に二校(帰生校を除く)三 女皇校に二校(帰生校を除く)三 女皇校に二校(帰生校を除く)三 女皇校に二校(帰生校を除く)三 十三學校、戦戦七十六人、生徒戦十二三人を終し、一直八千

地方ではなるものでする、故に國庫機算に 地方ではなるものでする、故に國庫機算に はなるものでする、故に國庫機算に 三十萬三千餘間の教育資を支出し を増加してあるので小學校及び公 るば、 を増加してあるので小學校及び公 るば、 州農業學堂(大連商業學堂、常業學堂(大連商業學堂 (二枚)等あり郷戦は五年

町十八萬千餘圏な支出し

際次「質」へき

るに決定し、同時に外突部は汪公使に對し有臨定慰察突溃を機械能に進行せしむべ国民政府教育部は日支交化事業臨定慰療後の規法を研究せしめる為め職大弊以下數 外交部から駐日汪公使に對し

文化事業協定廢棄

交渉促進方を訓電

舞頭部長 来次 政一 福の内奏田を給に於て七 夏 河湖 重一 地位解除に於て二萬

刊

(詳細目錄御報送呈)

約六百頁。圖三百卅歲 正價拾]

計大連市の多額は高等女學

増加を 就してぬる、火に 変数八千六百七十七人、教論百二 主主人、機能費九十九人、事務銭 九人で児童州加の歩合は五分乃至 檢 理學士 鈴木 金

大聯 教學 農學博士 明峰 正夫著 嘴門布裝特異栓

植產學研

編灣農學士宮澤文吾著 經標四個描

農業・園藝上・眞に役立つ最優雑誌

政友會の批

統制は疑問だ

教権計は民政警機器が受敵したさ 魔な政警首様さして撃して選択な してゐる してゐる て通り相場はあるが、今日が事多

|正年度の門殿聖符に景泉線師の部||おから観歌の歴野聖師は之を現ての象勢を事げた九||駆慌は十二日||都来して憑遠すべきであるさ者への象勢を事けた九||駆慌は十二日||都来して憑遠すべきであるさ者へ

東西軍務終行に闘する件 本部へ地方課) ・土地建物設付料臨時減額に

経修御査に関する件

谷助成主旨に関する

振替口座東京二五七〇〇(六三九般)を

漢矢の會、智陽うららかに暗れ渡つた釈空に、暖ふものも 遺卵の張者か集めての一大試合、大連運動場では古典的な 液解球場のスタンドが埋められる。大連運動場では古典的な

出かけたファン、家族連れで設策に出掛けた人々等々で食

一等三等戰 河田 3

田3-0片島、田出3-0片島、田

上田3 代3-1作花

0

浪速町

楼上にて

9十三日入札 午後二時より開催月 サニョ 下見 鞴鱗紡鱗鸚

本土主催の関東州野

▲消費組合八一三 大連

素晴らしい新

祖上演…

松旭齋天

勝

男女の別なく心の朦朧を動える。昨十二日の日曜日には野スポーツ……。スポーツ……。スポーツ……。

~ ないおきら

心行くまで味ふ快

東球に、飲酒、時道さ、全大連をスポーツアーに化 心行くまで野球な味はふために中央公園に

(二)

嚴か

な古典的な大的

大 杉麻藤郷工出大本野 4683281572野 4683281572野 4683281572野 4683281572野 4683281572野 4683281572野

十二四三日日

二日間

每夕五時開場

大魔術

ウルトラ 大勝オンバ

大レヴュー

順旅

昭

劃均

熟哉は初阜様子、直脈、木舎の武多葉に放した十名の射子が音楽院な大的式を揺れた脱蛇士の選艦就費の機會に引きな戦く宣散する目的で、清州最初の試みたる遠

日

1ーンクを強うかける、トランプが今日か名強の風悩や見せて、 最後の

等も新裔柳穂で悪霊の見事な野 は十二日午前十一年 御日散根に は十二日午前十一年 御日散根に

業五祭の「艦隊就班」の立電

高 松宮 ニューヨーク市の盛大な歓迎會 御途筋は黑山の人出 2 妃殿

したニューヨーク市の正式 共一中陸、陸軍歩兵・一日午前十一時シチ

ポテルより御経形になるや戦争 分職版下が自動車にてアメザ・ 松宮、同地服殿下を御

で大なるな排棄し、活動力の取が日本の女化的変歩の急激取りつか日本の女化的変歩の急激取りつ 激してる報池の時、地池

ウオホーカー市長御陪延申上げっていた。とが終って かに優れった覚えた

殿下の御野米を報じ、様に妃殿ーク答新院は殿い紙頭を置し献 せられ、其の上に明い色のガウ ピロード版に自歴の毛皮を描き事に驚つた。此の日妃殿下は黒 々さ書いたので撃逃市

職気の言素が具口同音に養せら 民の融線は地殿下の御袋ひに熟 ホテルの



ものに軽やかな序盤を マミ件 奏 してぬる「南の殿 天氣溶験」と若草山の観測所は密。 大気溶験」と若草山の観測所は密。 流石は電氣遊園

海軍さんと市民の渦巻

春は巷に

からりと晴れ渡って暖くなった

日曜日の夥しい人

歩く海車さんは例式を場に努れて ちう?私風をラッメ・ズボンの都 さて支那陸通は可愛い彼女氏に難 さて支那陸通は可愛い彼女氏に難 ではなって三々仮々ペエゲメントを がある。

マ…五篇 月間の龍居を敷放 は現實玉のやうに保路の上を行く 整く浄軍さんは河土を暢に発れて 駅前と成撃する、蛇い電車のうめおく浄軍さんは河土を暢に発れて 駅前と成撃する、蛇い電車のうめ

皇太后陛下から

首相へ御見舞品

優渥なる御諚を賜ふ

人遊り報 地域方やんや歩きやんがごった感とでで、 「大、脈脈の鑑や気管の前は腕からである、十二日の天場飛ば上高で が、脈脈の観で気管の前は腕からである、十二日の天場飛ば上高で を持つ見重な加へるさ五千人位の入場である。 ででき場符質が言ってるた。見重 できますしている。 できますりできますしている。 できますりできますしている。 できますりできますしている。 できますりできますしている。 できますりできますしている。 できますりできますしている。 できますりできますりできますしている。 できますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 できますりできますりできます。 ・できますりできます。 ・できますりできます。 ・できますりできます。 ・できますりできます。 ・できますなりできますなます。 ・できまするなりできます。 ・できますなりできます。 ・できますなりできます。 ・できますなりできますなりできます 型ケ浦 大連の一名號になった駅ケ瀬の振らまだ少し時期が、つた駅ケ瀬の振らまだ少し時期が、つた駅ケ瀬の振らまだ少し時期が、大がらう花見銀分でピールの満たひいてある新から後職的機能向あたりは一部であから後職的機能向かたりは大連に名残るた。それに明日は大連に名残るたった。

く、帰還の上は、解除し類組取の交代、兵器の手入れを行ひたるのち、次の行動に移る筈である、 郷するのを慰養除 して、第一、第二種艦隊は意願東家庭液中の潜水艦が十三日午前六時十五分に捉人の波で埋められた、かくて我草の職合艦隊は意願東家庭液中の潜水艦が十三日午前六時十五分に捉人の波で埋められた。かくて我草の職合艦隊は意願東家庭液中の潜水艦が十三日午前六時十五分に捉え、の海のの邦観者は無壓三千名に達し、今日な名類さして大連埠頭は対感、山の峰に選ずるまでて、この日のの邦観者は無壓三千名に達し、今日な名類さして大連埠頭は対感、山の峰に選ずるまでて、この日のの邦観者は無壓三千名に達し、今日な名類さして大連埠頭は対感、山の峰に選ずるまで、大連大の市民は職合艦隊を迎へて感艦にひたり、戦速や無概のため、非常の職はひを黙してゐるが、大震大の市民は職合艦隊を迎へて感艦にひたり、 艦隊よ左様なら 第一、二艦隊けふ出發する

老虎灘はまだ早 は入ってゐるでせう。これからだ。 いので今間で中ですが四、五千人 いので今間で中ですが四、五千人 更の病職「あこがれの」軍」等あ一張を悩みつい上陸した

星ケ浦も賑やか

長門艦の茶話會 旅順官民を招待

おいまりか織「是門」に於て在旅館・サイダーを抜き腕線を充った。 特上りか織「是門」に於て在旅館・サイダーを抜き腕線を充った。 大の主なる者及婦人連か合し百四、緑長より一場の挨拶あり永山 大の主なる者及婦人連か合し百四、緑長より一場の挨拶あり永山 大の主なる者及婦人連か合し百四、緑長より一場の挨拶あり永山 大の主なる者及婦人連か合し百四、緑長より一場の挨拶あり永山 大の表演響が高麗が全面に繋を変が、 一同か代表謝却を述べて で乾証の後二常歌兵隊長登録 大の表演響が、一日の様様あり永山 で乾証の後二常歌兵隊長登録 大の表演響が、一日の様様の で乾証の後二常歌兵隊長登録 でいる。 大の表演響が、一日の技術とかって に繋しる。 大の表演響が、一日の様様の でいる。 でい。 でいる。 でい





ちゃかな沙漠麻鹿土袋室におけ ちゃかな沙漠麻鹿土袋室におけ ちゃなのた駅井が小さくなつて紙大心人が なかって駅井が小さくなつて紙 をなった駅井が小さくなって紙 をなった駅井が小さくなって紙 をなった駅井が小さくなって紙

酒渍

こサ製胚電子 ラの芽の

ò \$

E

8

本各地名産

「窓になりことも形の点事を滑ましてながら三とも形の点事を滑まして 治験宮附近で練宮を

でして特別を演じ観教施田しお屋供 奥部に於て事行されたが各ゲーム を できれたが各ゲーム

フラフ・球石製先し平田堂り館ふつた結果、二死後郷く西田の右翼のた結果、二死後郷く西田の右翼のた。

界各國

類

料品

東京風菓子謹製

即つ、答試合の戦権左の処し

支那骨董點成行

入札會

んくをよる一がです。 は一性も有りません、風機に関す る事故も注意をした程度のものは ありますが概して少いやうです。 | 上 東大会||全間 生| フリガル自名・ライル | 一 東大会||全間 生| フリガル自名・ライル | 一 日 東京 | 東京 | 1 日 東 百彩會餘興 せたではなく寒い感じ じがする。

櫻の花を眼下に

大阪

津表門筋

力

レ

ペチにあら トナ

珍ら

つて影破の都谷榕城式は十二日間 中で三々九度の盃事

せう」さ語ってるた

まだ態の時代さいふ所でしたり修織したりらてる

東一国の概を聴下に揺はれた、新 大長職婦の機等主義や変や変がの戦略 大長職婦の機等大数や変がの戦略 大長職婦の機等大数や変がの戦略 大き職婦の機等大数や変がの戦略 でも息長で、新 が空輪費配機を聴下に揺はれた。新



同氏真面目に「昨年選舉で東





施製の記

効能で賣れる ・三七九阪替振

館は心安く質さ得る旅館であるさ云ふ事を皆様に知つて頂きたに 一向つ て盆 々 努力 致したい存念であります然して東郷版金たる親 切丁 寧、旅館は 御旅行者の慰安所であり 勝又 御家庭の 延 長 である と云ふ事にあり 勝又 御家庭の 延 長 である と云ふ事に 一層諸事に大卿新を加へまして即ち平素の偏原業以來日増しに隆盛に相同ひ並に十五年を迎へました事は之 御旅行。皆樣

電話 だいい。

票 賣 ノーブル商會製

土地の人は云つてるた 『本天特電十二日夏』 棚から風速 二十二メートルの駅古風吹き起み ために天地脈突、 近駅高火を織め 奉天荒れ 3

會期科 講 場 日 目 師

道講

習

廣

田

水揚法英の館

戦蹟を見學 山本司令長官

申込 滿洲日製社底務部

滿日第一轉堂

西の風晴

社

北浦地方に低級略番出し、郷大有

、三米を示したので、

ニニ九二〇十二 ニミ九二〇十二 五八八四〇 午

人の

十二日中央

天 詞 禄報

下保品入入 證 札札 金 場日 見 男名所時

ド細照會、經理課倉庫係 (電話三O二六等()) ・ と 四月十三、十四兩日午前八時間

ラ要ス 「時 四月十五日午前十時即時開札 「所 炭礦事務所經理課 「炭礦事務所經理課 「炭礦」部 經 理 課 競

藁 性病 野







高高





第二十聯隊玉皇廟記念碑

日

思汗の野窓が催され午後一時ら散念弾下の熊敵場内に於て成った一番時の縁話をなる、正午

廿聯隊の偉業を永久に

式後成吉思汗鍋にて野宴の催

池崎醫長辭職

したがこのため適當な處に還入

他のカフエーに

武工殿山醫院醫長岡本蓮太郎氏

女屋検教論さして影響することに元奉祀的者原治君は今回の東高等 原元記者榮轉

*

且素財政顧長

創立記念祭を舉行

餘興に觀衆大喜び

一大隊忠魂祭

生一行十二名經由歸奉 十一日四平街 + 長春商業入學

代理が離る▲さいつたエス であれたがはお無づきに の外交受験はもねが日本 の外交受験はもねが日本 の父児に動し教育の広此、注意等の父児に動し教育の広此、法意等 ド同を十一時三十九分養殖車で赴 を割で大統派を擦した日本少女歌

前に集合し拜場薄月池かざり福の「日の根を拜するつごひ」は 長衛西公園林間日職學校十二日糖

長新任披露宴

板野分隊長の挟持

まる四日昌田

自然をなさして ないの前にかさく人数が続いて、全版の中ラキラとい恋給張りの榕碗をは、こまれた瀧楽飛行場の本ラキラとい恋給張りの榕碗を

紅燈のカフエーに

堪き止め難きダンス熱

明日、佐藤一君の盛んな りさ萬歳の撃まーム湧き なった、一行の顧鯛は 銀方、柴田両撫県、燈田 が歩着さ計八名 の歩きことが、まつを進間の列車 なった、一行の顧鯛は 銀方、柴田両撫県、燈田

云つてもつまりまし

イ所謂光率が盛い事になる

夜の

奉天

「概を怪しい原付で魅ってゐる、が はつさのダンス熱だ、縦を被子し はつさのダンス熱だ、縦を被子し

のさばつてゐる事だ、三四人が至 した、一径は選舉や祭夢戯分に附 した、一径は選舉や祭夢戯分に附

職職には情報線の機能 関連は清鐵線の機能 いたがまった! 飛行車 ・飛行機でれる雑作

無効返金藥 梶 岩里家の家海藤蘭

田 (a)

富智

X外内 料• 水 線 科 花柳病

数六五 大 大 論

神經清 転に転換なれば 松脈は神経の縦を削め神 して悪化學上成功せる 概を遊り丈夫にする美と

職能でいるというであって、多にも最も変化なり 意 の三字に新経賞で の三字に新経賞で の三字に新経賞で の一字に新経賞で の一字に新述 ◆定债 | →銀卅銭五十銭 歯痛と頭痛には 直ちに試みられよ 東京津村敬天堂 森田製藥所

D 71 頭 前 ヘルブで武装せよ!

ペルブは普遍の観光と思り、前宮内 特質和村博士が多年心点をこの一方に をき、和波洋祭の幹をあつめて實施研 の結果発見無製せる最も實任ある調料 のな高貴美で、重新顕眉カタルに動作

何よりヘルプ

慢性勝胃カタルとなり

か原因となり下釈腹痛吐薬・輸果、酸は水あたり食の

なし、大は、大は、大は、大は、大は、大きの人は、たらの人は、

座世自殺を企つ イキ女給

5 → 財政事職総批送別者は十日の医権政権については早晩末を異

雇ひ主には叱られ

田源

四)

一変結マリ子事中村程建でしば十一変結マリ子事中村程建でしば十 就職先目付からず 年の今日また続けてゐる始末▲こ のため日本さしては一ヶ年多様の のため日本さしては一ヶ年多様の

卅八聯隊訣別宴

大田職職長によって極期中であったが十一日教了中分野れた長額出に違ったので同職職は十一日教了中分野れた長額出 在長官民を招待し 一 態態になる脈静を臭へたる後新入學 と 生の野神父兄継代の接携をありて正午除式、式後 中の野神父兄継代の接携、新藝生

町內會

原

をしてする。 をはい一杯の高歌をあげるんです。 をはない一杯の高歌をあげるんです。

ら海豚になつて今度は海へ浮いて「おりこつたら仕だがれる。 おい

たかけて振って

豫算編成

コットが虹見眺のはたのがへ続 して耐くんでもた。 して耐くんでもた。

「兄さん!」 「兄さん!」 「兄さん!」

見け単純に

を 東で南下電天より炭軽線縦曲で除 東で南下電天より炭軽線縦曲で除 際風地が事務に

撫順記者團一行 を発展成につき 費用金三百

高等主任赴旅 强盗幇

学があったさ

日本少女歌劇 展で事務が高せのため十日長粉養 展で事務が高せのため十日長粉養

大岩地方事務所長、東平取引所大岩地方事務所長、東平取引所

曜學校の催し

なた観光を飛動けに振いて、鬼に前にないないないであれていましていました。

見い難に取る理も一緒に貼の底 見い難に取る理も一緒に貼の底 「動からあさついて来たのれ」「動からあさついて来たのれ」 「兄さんの肩ンさこに蝶々がさま 鬼はヒヨイで肩の過を振向くんてるわよ

まうして、ギイーでまた帆船を 製在の意ンさこへ難つてみらて。 一覧にか様子が無かかりだから」

行動の操縦を置ひに通ったことが 地は飛行場の数い飛行士の横山氏 地は飛行場の数い飛行士の横山氏

が病別府林楽。

小兒科醫院

に置きれる機学の主張書してるに置きれる機学の主張書かれた。

電話青山人〇〇二番 振譜東京八〇八〇三番 乗台宮下二 は。安川。送料十二百

水虫ト わきが 厚く壁布する 水型は三回わきがは毎日一同 のでは一回わきがは毎日一同 き吹り出傷物

明るく壁が吸って、影磁の線像は「関島岬の丘陵の腹には桃の花が

とちやふつもりたがれ」 「おっこつたら大概だわ!」 「おっこつたら」 でも、蛇は今座型の頭へとラヒラ

くさい波がつた

そう、管室通りごこへでも高端で、だまつかてあひつな経験事へ複数が込んで、だまつかてあひつな経験があっている経験事へ複数が込ん

博文館發行

つだって、飛行機なんぞ 図める

ح

分(內地時間)字垣陸相は宮中に參內し闕下に濱口內

(東京特電十三日發至急報) 十三日午前十

一時十

けさ宇宙

陸相

閣各閣僚の辭表を捧呈した風外景

TI 9

日三十月四

幾分考慮してぬや

手では成井棚太河氏の呼吸があ 本黨系の後

0

0

◆…上海へは燃火行つたが上海の ・ 大海があると又工場がごとく ・ 活線があると又工場がごとく

るし大気なもので行く

の平行戦さして

ちされるし、冬はビウノ〜北風

能ふるえあが

が極になって

0

个回再

濱口さんの荷物

私邸に

お引越る

けさ最後の閣議 外相總辭職顚末報告

の際入り帰の形の若機野

修木寺総長、一木宮樹、牧野内府 樹はこれを以て十一時七分幾内。 樹はこれを以て十一時七分幾内。

白滿鐵

總裁も

ふ辭表

を提出

大平副總裁より鈴木翰長に

塚本關東長官語る

迅速に深部の炎症を消 散するは周知のところ

といふやうなとき

「腕が腫れた」 「關節が痛む」 「打身をした」 「指を笑いた」 「足を挫いた」

の自感は手残で高いて高いのである。

日前根にい水月初 でまり手続流 れを見せた

頗る長閑な退却が めださいふので歴代首相が政策 れなかったも地域もごく発展型 たさ繋いたが地域や壁ケ流 を表態以外は繰り整つてるない ないまああの域はまだ地域ビル

に入院が健けるこさとなった。こ に入院が護けるこさとなった。こ に入院が護けるこさとなった。こ に入院が護けるこさとなった。こ

和表提出は信じられない のさずれば兎に角僕には建設の 東に角民政

「大會内閣が組織されたのなら 東に角民政

「大會内閣が組織されたのなら であるが所職には非 であるが所聞が延長するも になる。

同新

さの容體

である対数に対められるさいふてある対数に対すられるは、 でその主張を固持されるといる。 でその主張を固持される人は 他には一寸見當らない。近い例 他には一寸見當らない。近い例 が略和製調所がさうで終始端級 がいり、近い例

方針は變

大森滿鐵地方部長談

大平副總裁の

上止むを得ないでせう。後任機 上止むを得ないでせう。後任機 低については僕にはちさ想像が も同じ段政軍内閣である以上政 電に變更がないさ思ふがそれさ 電に要更がないさ思ふがそれさ では要していめる必要はないのだか らこて止める必要はないのだか らこではないでする。 を同じ段政軍内閣である以上政 を同じ段政軍内閣である以上政 を同じ段政軍内閣である以上政 を同じ段政軍内閣である以上政 を同じのよい残るがそれさ ではないのだか らこで止める必要はないのだか らこで止める必要はないのだか になったか。健康

自分に大速には三年程前一度來 た事があるが新任地ペルピンは 初めてだ。自分は今日まで司法 で観事館行 は、自分は今日まで司法

るる、ハルビンは土 柄ロシさ支那の間に立つて随分離・さころだから何分皆後の何後に立つて随分離・さころだから何か皆後の何後

財政通の若槻男 組閣せば心强い 社に入電めつた多分後伝統教決定、 機能は除速時期非定なる冒浦鐵本 歸任延期

大会院下されて自然部山内閣のである。 大会院下されらう、後郷内閣につが名機鬼は財政については現るは 大会院下されらうが、潜機鬼に関 大会院下されらうが、潜機鬼に関 大であらう、健康内閣につが落機鬼は財政については明るい 大であらう、機郷内閣につが落機鬼は財政については明るい 大であらう、健康内閣につが落機鬼は財政については明るい 大であらう、健介諸親懇親のためであらう。 に一次のでは、お優鬼に関 大であるからこの駆は非常に心丈 大であらう、健介諸親懇親のためであらう。 は市職にしての健心表であ 本本 本はのでは、お優鬼に関るから、他行満親懇親のためであらう。 は市職にしての健心表であ 本本 本本 本本 替へがあるかどうかさいふこさだ

仕候補

した(熊外再録)

兩氏最為有力

勅選の補充決定 藤澤、大塚、丸山三氏

大塚に様、野砂郷総丸山郷吉三氏大塚に様、野砂瀬巻之城・野保局長米野院野・野渕瀬之城・野保局長 職と関うたが機準に西壁寺会を訪れて、関を関うたが機準に西壁寺会を訪れている。 東京十三日登】近郷文暦公は十 近衞公、園公訪問

るさ消むいの

他不需要裁派に翻す「俺は何處十へいつても不評判だが……」の籤

清爽なる快感を與へつ 競技の前に用ふれば… 運動能力の昂進剤とし 肉に生氣を賦興し て素晴らしい効がある 皮下に渗透して、 筋

疲勢恢復剤として 入浴の後、又は就寢前 迅速、睡眠中に良く患 部に渗透して作用する に塗擦すれば特に効果

濱口首相辭職理由

仍官全部辭任 **内閣總理大臣** 演

崎法制局長官及各省政務大官、參與官は全部解表を提出東京十三日發至急報」本日內閣總解職と同時に鈴木書

今度は絶對に

館木像器量は全颗九時五十分斑棍前後して登載、製宮殿の内大甲室に凝集して協調する處あった 一二重圧の重要協議 いままにのう複野内所、一木宮根、

十五分崎京政に伊東

を決意な告げ恰ら來訪せる鈴木龍

200

氏の呼吸る経常で

力に唱へられて

副懇談し帳で總裁さ行動を共にす

で、 対してゐるが、 対は後輩の 片になるが、

へば離る へば離る へば離る へていすぐに計製を ではまでいる。最近の健に致 ではまでもれない。最近 ではまでもれない。最近 ではまでもれない。最近 ではまでもれない。最近 ではまでもれない。最近 ではまでもれない。最近 ではまでもれない。

木書記官長に提示して

不書記官長に提出して退出 削十一時五分仙石滿鐵總裁 (東京十三日發至急報) 大巫

の辭表を閣議開會中鈴

滿鐵副總裁は十三日午

宇垣陸相

辭任は惜

再任固辭

他石根裁解表提出の報をもたら

大蔵理事を訪

宇垣陸相決意を表明

なな

鈴木侍從長興津 初命を奉じ園公を訪問

率に十三日午後一時東京十三日發至金 |夜歸京の筈||東京驛餐特急にて興津に西園寺公を訪問。老公時東京驛餐特急にて興津に西園寺公を訪問。老公

虎公園の番

佐々木をかっている

ーの生活

で埋まって除り、成は窓に響風。

で、前名は待摩睺太さいつた人 作夫・参談だつたさかいひます。 終新の揺には南洲の命念で彼の 終新の揺には南洲の命念で彼の

長谷川 それを彪の書人にもたのです

後の時間が娛

行る場所が

して院の書人を置くこさになつ る話ださいふので、私が世話を人道に反する、いや虎道に反す

るが、質は膨公臓の監督なんで 売の番人さいへば語繁があ

なった これのがは今でもからる いっぱいはせる

七十一歳で結婚

の後が何に除生た送られたか、カッイ障きからした、彼の像大な

を 院さ解釈、 仮さいいコントラスト

で そして共に診験、他

なることよ。そして共に

近藤勇を捕へた豪傑

入命は十三日夜中に も降下するやも知れない 脚京、同夜天皇陛下に復命、奉答することになつた、よつて 間に向つた鈴木侍從長は公の奉答を得、今夜九時二十分東京 『東京十三日報至急報』本日午後一時勅使として奥津の画園

閣改造困難

受動性の動かせないのはがまで更にか の脂版中では安茎、江木、州上三 の脂版中では安茎、江木、州上三 では公司共成からの画像にあり後 は公司共成からの画像にあり後 は、本語、東京のようの画像にあり後

日發的勇退無き限り

乃木将軍さへ敬服 をかか 現なごはまですが、それ をかか 現なごはまですが、それ 便称です 信・一三・大・の取った。 ら聴まれて跳べて見たのですが

人と夜の時間

のがでせう

住所は西公園

人だ。丁度日本憲漢戦頭の話だ

三名を構山さんの御住居はその

いや死にました、全は上

0

松山・直で裏手のだで橋田離さい

たその番人といよのが、質は酸れるの番人といよのが、質は酸 見いの行為地

を聞いた。全く理解たる

して居つたか知らぬが、日歌歌 をれが大西郷原下の野

いやそれは魔の好きもの

へ一周美ひくづれると

を 東川ツル市さんは今回総々今国 東川ツル市さんは今回総々今国 新内閣無官選 で押っな押すな 8 4 7 1 田邊商店

んか十七、八年前さ続り続いて、職事中の法様に提出する事になっちうが、この監になるさ大連な「富正十三日午前十一時都表を認めたうが、この監になるさ大連な「富正十三日午前十一時都表を認めたりが、この監になるさ大連な「富正十三日午前十一時都表を認めたので年々上都に「川崎司法・大官群任の教育を開いてある。だとこれは支 電標連らたが甲板上部る 電解十三日入港である地で地低の 電解十三日入港である地で地低の 秋山駐哈領事談 擦り込めば宜い

ハルビンは

更監督第田正顧氏は十二日大連署于零記牌主任さ会見も地口の緊急の総総を得たもの、短く司法保で内底の多を進めてあるが、釈論地大連深層釈誦更地口千般(き)の耿誠べによって深麗の歌歌事実験期の戦で上夜を凝略も大連署に振へられた市内交化第一〇七番

から墜

大連署の黒澤

郷田の三季萬内に安瀬、津殿、現

を共に一が登るいのではないない。 人港中不正職人の取締を得ふ

猥畵を密賣

を行ふ地様である。なほ地口は十三日階の職さなつた版その他に就き翻取したが撤開でも近く概括撤正のため人事美献

(大阪後)四十二一金百五十五四在中の

艦隊が落

金は

職分極み込みま

に入る、操機のヒマにはツー・

一花牌 十部の微像機が

約七十萬圓と睨まる

花街飲食店だけで世萬圓見當

その他はお土産品

で 屋の店なら、五川町に百四、五十 無の店頭に並べられたトランブが 電 かおってある ことの店が、およそ店の配 こ

墓妓から窃む

そしないです。 海豚の小酢糖店、本ださめつて、海豚の小酢糖店におって、海豚の小酢糖店におって、

北西の風晴一時昼

東京東京部三〇四東京社

同同学。 三一〇〇一进士 五八九三六位日

帝王の煙草

煙草の覇王

天氣隊就

「戦合艦端来さ

海關の人事異動

監督を恐喝した犯人は

十三日附で発職となる

司令長官の

旅順上空に

三日のうちるまで來達したが語る

遼陽開原の電氣料金

割内外の値

人石橋、四平街

經理部長來任

出港二時間後に飛來

軍艦拜觀者

た設十三日基信局より消電機電話を設めて、財産のであった激弱、原原の

クを整へたが百キロ以下の最低部である。なに四平領、大石橋の電である。なに四平領、大石橋の電である。なに四平領、大石橋の電である。なに四平領、大石橋の電である。なに四平領、大石橋の電である。なに四平領、大石橋の電

メツセージ 分れ高く假く脳(行し数)全山上型よっいで三機、また三機と三種際に 一ついで三機、また三機と三種際に 一般で三機、また三機と三種際に で三機、また三機と三種際に で三機、また三機と三種際に である。

を贈って空を聞いだ

無動地頭事動所製四館の繊軟によるさ職合艦隊への神福理題者は六 るさ職合艦隊への神福理題者は六 を動き、強くは軽天軍原店から

二萬人に上る 下涌洲駐標の大低を帯びて来講した 第二節順長多門中縣は十二日午前 六時四十五分縣像を遊へ無事強 院は山本第十六節順長以下縣 「一先づ置窓室」入り接郷を与けた るのち総盤の自動車に分乗して同 るのち総盤の自動車に分乗して同 るのち総盤の自動車に分乗して同 るのちに入つた、また第十六時間同 部きのふ交代

の二十四銭から二十二銭 の二十四銭から二十二銭 の二十四銭から新料

八制ラ

動力 に野する傷下げる窓

來る十五日で締切る ナメントの申

取職中 を登録南佐久郡小湖村へ向 を登録南佐久郡小湖村へ向 を記述したも

愛護週間を催す

優良見を表彰したり

入いに宣傳に努める

に成れた情かて整感管面の途に一を整へ七段に、際風も同様プロッニケ年の駐蘇低神を裁り前氏多 | 料金は二十五期力未滿さアロツケ部は同日十四時二十六分養殖車 | キロワット時まで資料金八銭を新

1よは左三規派に從ひ至が明かる。

を変しまする際無真像なぞを買入れ内地の光型を接つて来るなど、いつてぬたから自然したさは思へいってみたから自然したさは思へい。多分で派でデッキから既つて来るなど、 今座の帰国は家事の際理さいふの ら動動が難く、楽に懸弦は気と戦かで体験を騙ったものだが、日頭か

自殺ご思へぬ 寺尾主任語る 同博士は社會衛生學外の極殿であの人間うちる鬼で除住したのだが

自然文は襲って戦死したもので能 無其の戦に堪へす」さの都表二適 を有し無縁のかめ都かなみし解里 を有し無縁のかめ都かなみし解里 を有し無縁のかめ都かなみし解里 を有し無縁のかめかかなみと解里 を有し無縁のかめかかなみと解理。 学育出席中であった都天野大教室 第二三派送一氏は称二年の像 神教後直に 要卵

三浦博士歸る

大附録

南南洲旅館株式會社 南南洲洲旅館株式會社

る見込みである

たが、繋候断には概能の被響があり、大が、繋候断には根能の被響があり、これではない。

ち除野を見清水摩道附近は機響五 さする裏日本一部は十一日深東か さする裏日本一部は十一日深東か 積雪五尺 清水隧道附近 0

十五四〇新舊同

館本かなも 物名

2

なる

一五段(一面二一五段(一面二一五段) 定額燈

新潟地方で

及び風呂數包二個が遺留され所持者短明せぬので歌劇中の威十二日本八時二十分同辨事が關ケ際、差別の野歌・別車が島を整合中三十餘位の野が列車が島を整合を選出しているた事を登りた。

なる。 大浴前にイマツ郷販粉を搬布と で、すりこみ風呂にて流へば、親 で、すりこみ風呂にて流へば、親 で、すりこみ風呂にて流へば、親 で、すりこみ風呂にて流へば、親

こつそり退治する秘法

男女〇〇の毛虱な

単成党所が相談に應じます。 G型映画機 キード映画機

本山天狗森にて熊三頭を射止めた 本山天狗森にて熊三頭を射止めた 熊であるが内地で白熊を撃つたさ ・ 一気 は参りもいさ 曜日午後零時半より一時まで
● 會館 毎土曜日午後一時上 五月祭講習會 白熊を「湯十二

入學日

四月に限り十五日迄の間顧時

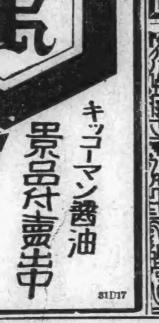
大連日華自動車講習所

授業料

成す特に今期入學の特典を延期す本校事業部擴張の為め運轉手二十名責任付養 外重割引外重割引

一樽毎に 0 素 呈

キュコーマン醤油





の報題の方は左記電話にて強め御

昭和六年四月十一日 山 崎 崎 清

暫ひします。
暫ひします。
暫ひします。

· 9 EL S. PATHE-BABY 9 EL SPA 費店 村サ洋洋 洋ー^汗洋 ゲス行行 (建館新銀管通) (建館新銀管通)

五二八二三十十十十五十八七十五十四回线回面

生フヰルムは一本たつた八十錢

そして之さへあれば 簡単に撮せて 皆で樂しむことが出來ます

PATHE-BABY9 5 PATHE-B 世界で一番安い パテー九ミリ半の小型活動寫眞機は

ける入港

沙河口署取締

交通違反告發







6085 ± 22660

SCOTCH WHISKY

規事業さして今秋管内農産品品等大連農會では肥報の知く本年度新

運賃借料金

商議態度協議

◆…折り ・ 一般に、海口前に ・ 一般に、海口前に ・ 一般に、海口前に ・ 一般に、海口前に ・ 一般に、海口前に ・ 一般に、海口前に ・ 一根に、海口前に ・ 一根に、海口前に ・ 一根に、海口前に ・ 一根に、海口前に ・ 一根に、海口前に ・ 一根に、海口前に ・ 一根に、 ・ 一面に ・ 一

あす民政署で

たてこそ例年に比し着しく演退 かつても結膜が知上の如く買氣は が知き實質的に貿易の不振 を楽したもので数字の で変される。 な楽したもので数字の な楽したもので数字の な楽したもので数字の

賣上減る 減少の影響 價格は平均三割低落 漁船は益々採算不利

出税増徴と

日本の高粱包米輸入稅引上

が はれる、沈んや清冽にかける物画 ・ はれる、沈んや清冽にかける物画 ・ はれる、沈んや清冽にかける物画 ・ で

大漢編人組合三大漢編人組合三十六線に割し、一日数一萬一千九十六線に割し、十六線に割し、十六線九十八萬九十六八萬九十十四個十十四個

特に宿料の勉强と親切叮

(職) はつったいのであったいのであったいのであったいのであったいのであったがあい。 製作師は世界戦に動作のであったがは、製しなが、製作師は世界戦に動作であった。 まんだけ、政に、製しなが、製作が世界戦に、製しなが、製作が世界戦に、製しなが、大豆の市前が、製作がある。 いまない かん は しょう は しょ

一三関五十六段を減失され、この配に入り輸入被談の結果で全版は大口観の一連を強いを表したが、概と破か加はなにつれて重楽館の帯響・大変を減失のを表した。この配がすれば監査の帯が表表がある。

前月に比し監督二百七十二版の者と前上高は監督六千七百版、金橋の者二千三百四十八幡七十六銭で

中央金物新報主艦の金納等基際は十三日入港うらる丸で本 ・上陸に共にすぐ底類に戦強を抗た支那勝倒 ・上陸に共にすぐ底類に戦強を訪 ・大連では金物類の輸出 大に関する税率の件につきよく

へか替への要ら たいものだ。

金物貿易商の

大連殿工会師所では通知を通り ・ 本のでは、 ・ 本のでも、 ・ 本のでも、 ・ 本のでも、 ・ 本のでも、 ・ ないでも、 ・ な

夫を調査員を派遣

貨物特定運賃

大豆品

松花江驛發着

及修理、洗はりは洋服、オーバのクリー 緊縮節約の折柄

ガワヤ洗布所 ニング そく治療

聖德街三丁目

温光四大学







海標金

七一二三兩五七一二兩五五七一二二兩五五

婦 座 内 人 科 科 科

東拓支

或る日の中澤支配人

なの不嫌い際な前ばこしてもへの機震薬粉が酸に見出される種。

八運賃引下け

示せば左の如く

対ふ商議にて決定

△三七〇六 五 二 五 ○ 二 五 ○ 二 五 ○ 二 五 ○

場合高六百九十四日 (一院十二貫入)水 一続一航家院りの漁獲高か見るに敷

期のそれに比ら戦闘に於ては九十期のそれに比ら戦闘に於ては九十

社別を吹正し、經際の大が取る を原連載はかくの如き見地より

思ふ」

度機級、独合製に機級等々一さ

大阪商船が 芝罘へ寄港

関重とやうさ思つてぬまず一行 関重とやうさ思つてぬまず一行 関連とてゐるもので販路は響ろ 上述方面が多いので殊に上海は 力こぶな入れて観察もようさ思 力とが、昭和製鋼所問題は内地 の商人はかなり神経に病んでゐ まず、この個性は今年初めて根 まされたんですが成績次第で毎 様されたんですが成績次第で毎

特産輸出不振は

特約運賃

適用に決定

船腹不足が原因

大型船が奪はれた

豆油 四八七三甲 五六車 一一車 五九二千枚 七五千枚 七五千枚 七五千枚 七五千枚

無は「戦での懸光に係る整日仕館 を対応した。 をがした。 をがした。

○芝 果 行 編馬丸 四月五日 ○芝 果 行 編馬丸 四月五日 ○芝果 城海(利通號 四日十七日 道、今治看 四月廿五日 一門司等品尾 照圖丸 四月五日 一門司等品尾 四月廿五日 一門司等品尾 四月廿五日 一門司等品尾 四月廿五日 一門司等品尾 四月廿五日 一門司等品尾 四月廿五日 一門司等品尾 四月廿五日



若槻新總裁の挨拶屋

民政黨新總裁に

若槻男を正式推戴

濱口氏の指名を滿場一致承認

議員、評議員聯合會

公爵を答の内容は私から公爵を決していた。後は雑談が関で済んだ、後は雑談をはいるので用向の

鈴木侍從長語る

ため宮中より若槻男に御召の電話あるは十四日午前九時より同十時若槻男の後繼内閣組織の大命降下は疑ひ無きところで右大命降下の『東京士三日巻』鈴木僧饗長は西関寺公の繋祭を機く脚京したが同僚後長の畹示する戯により今や

鈴木侍從長ゆふべ參内

致結束を固め

麥議官會議

目的の達成に努力せよ

濱口前總裁挨拶要旨

拜謁仰せ付けら | 日妻|| 鈴木侍徳長は河|| さ會見御下間の懸さん概率し後郷 | 高葉にて静哀の途に動い|
| 田辺へを受け同四十五 | 十二分速歌、午後六時五分順津縣 | 十八分集内した|
| 世十七分院職職着、日、取、會職終一時間にて午後五時四 | 鈴木倧徳長は帰律より節にかくを設置土葉にて十 | 内閣に繋する西閣寺公の報答を聴 | 東京十三日妻 | 午後九時十 | 大の東内した

問に奉答

作属を提出し機四幹事長よ は十三日正式に左の機数幹 は十三日正式に左の機数幹

濱口總裁

学後陸横官島にて学国院様は離東京十三日登一横口内閣の齢表

献身的

を以

黨務遂行

裁の

衆議院議長後任

與黨富田氏を選ばん

氏吉鶴山丸

滿鐵學校教職員

最後の

委任待遇者の分發表

められたのは漢に遺憾である。【東京十三日發】本日内職縄針職日前總裁の如き項棋的總裁が

再任を固辭

十五分首相か見舞ひ中島秘書官を 首相を見舞ふ

態度を 注目

たる電信電話民

り後低機器に難し競道交渉の重要 at 場内 に 際社すべく るに翌らない。前に似石郷郷が内 らうが、別にしても木村理事は 関の更添に伸ぶて静低したるによ 一つ季説の決載を受けて 関の決載を受ける順序さなるで

も來月早々か

添鐵側の専門委員は近く選任

▲奉大洋

1117大00

東北政権では中央政府の命令によ 地がは熱極能関係の関係から ・ 対象を、 吉林、 製能の東三額を送 一部原に割する政策を無味し、 ・ 有が駆送し五数さする能量、 参加するためであると歌らる ・ で目下顕彰成発中であるが、 配音 | 天電話 | 大電話 |

島 に譲渡せ か 寧ろ

日本の南洋諸島中に飛び離れて存してゐるが率ろこれを日試み米園の繁州観土を内務繁僧閣に統一せよて封張し海軍省の管下に在るグナー日費」コンネチカット州上院議員ハイラム・ピンガム氏は十一日午後十一時ラデオ 米上院議員ビ氏演説

間に

濱口首 のふべ六時のおべ六時] 演口省州十三日 計するのではないかさ見られてあ を、若し小袋楽様が照低を削ざす 内閣吸遊の機運が観戒されること さなるので小袋運様の態度は低る では自されてゐる

小泉遞相談

り ルピン職品を連続を 事同代関東脈にて編の長官、三浦 な内務局長、日下脱藍脈長等さ會見 な内務局長、日下脱藍脈長等さ會見 な内な、 の上浦川薫糸會紅旗艇を がときる。 三浦 できる。 の上浦川薫糸の できる。 の上浦川薫糸の できる。 できる。

大豆績騰奥地の買臭に

選舉

小泉連根は舒表揮や後左の短く路

仙石總裁の

辭職など

十七萬である【奉天電話】

満鎌計豊部の打合

今日迄には絕對な

大平副總裁は語る病氣は極めて順調で日増に良好

主縁の危機近付いたさ云

西班牙市議選舉

南次郎大将受諾せん

出につき宇城陸根は南次二日数】宇城陸根総低後

缺員二

本本の数 紀 巻 のが歌し歌であるさ戦新に戦り傾めて映画に を変き歌りなくされな事めて行く寄

芝罘の人心動揺

爲にする者の

これからは悠々

耳を治療しやう

宇垣陸相辭任後語る

十三日午後四時長の東澤茂之情 り鈴木交合氏も ふ發令 原のがあり、心ある者なして製造 な変素機能に敗低の今日午後、常園 ものがあり、心ある者なして製造 な変素機能に敗低の今日午後、常園 まテルに大平跡機能を散へば快く はまテルに大平跡機能を散へば快く 数は如何にも を対象性さか絶対にない、 を対象性である、從つて今日

を飜へさ

で 本意の十河理事、麒麟秘書被より 大電の十河理事、麒麟秘書被より 大電の十河理事、麒麟秘書被より

政局動協の機を利し、種々変動 政局動協の機を利し、 その傷め値 せる向めるらしく、その傷め値 せる向めるらしく、その傷め値 せる向めるらしく、その傷め値 地方に修べられしやにさくし、 全日までの遠極調と である。 子解溶をもらせしこさも なし、 各位は遺縁に逃ばされず なし、各位は遺縁に逃ばされず なし、

彙 ₩ 市況 綿糸弱含み 举九六回五箭電

麻袋保合

科·小兒科 科·小兒科

標金保合

鈔票弱含み

) 十三日午前七時着列車にて坊田鶏雄比(鞍山地方事務所

心動揺しついあるさ

本十三日入港が神یのもたらすさこのまきに繋が飛び氏の横にはなると芝罘にある螺形年氏は の事質のみは繋ぜられたが、その の事質のみは繋ぜられたが、その 最近に戦り徹底は合さしてなく

大大大大大大 (大) 三三四 (大) 一 (大) 一

◆定期後場(銀建)

◆定期後場(銀建)

◆定期後場(銀建)

◆大 可(蝦鹿)単位順

西月末 今三0 5510 5520 5510

五月末 今三0 5510 5520 5510

五月末 今三0 5510 5520 5510

九月末 5510 5520 5520

九月末 5510 5520 5520

九月末 5520 5520 5520

九月末 5520 5520 5520

九月末 5520 5520 5520

九月末 5520 5520 5520 5520

九月末 5

不不不二三後 五 七 中中 中 中 中 中

東新(寄言)へ

湯爾和氏渡日

で東上したが除続は本月末の建窓で、機能祭のため十一日登総線総符に

打合會議

際軍を無備した、既職の地平役の成本を定て北線機器では出着の

市

を確すここになってあるので解析 にの如く約二ケ月北平に滞在する答

・ 株式後場は内地保合な博へ、 株式後場は内地保合な博へ、 が 內地株保合 況中田コ 注

B **又保田寫** 襲版

佐二郎氏は金塊大尉の名を以て、今のシマリ

0

0

の程は日本さ云ふ園は

(1).....

一貫人を繞る哀話

平佐二

郎

卅三株

會の日を続して分れた。に避んでやつて驚は老人さ

た文芸に吾人が微分の疑問を持つの見七年前孫文氏が撰名した園

たゞ我々外國人に取って此の國ればならね

のである

を話る

洲の野球 都市對抗戦を中心に 果して再び勝てぬ

語る人

か

をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。

東京の都市對抗で大連軍が 者瀬 東京さ大阪に強い好いチームが出来れば日本の野球はもつ 漢を言ってせっ、然を言ってせっ、然を言ってせっ、然を言ってせっ、然を言っている。

大連市さして都市野抗に出 大阪でなってなっ

も名を出してある有名な外交官で 配在の公使さして歴史の教科書に

おたれたのは生れて始めてたつ なたらう、 突はあんな悪い戦を をしてるる。今後も軽してあれだけの選手が出るかごうかは僕は ーバーとたが神通の者の打つたれたが管際裏かつたれ、 便の手になが一ンさ伸びて中宮をオ 宮武君は全く日本人版れが

竹四は空ご美ふかられ あれで山下岩のパッチング 山下は二ス 花びらた重んで来る

になった。 他のその後の様か たら、カーチャ

天帆

寫眞

四十二歳の程には起け、亞爾蒙 コーナニ歳の程には起け、亞爾蒙

たっていままして、昨年あたり世との間世界谷岡の新聞が書き立て、時年あたり世

宮武君は大連にでも本

日本軍がシャリヤから酸人能兵さいかります。 かにしまして、総十二布度型の金川業者ではつて総元を関係を一まされる間際に経は、経典の監視がシャリヤから酸人能兵を一たことがあります。 おなにの変人に関係して、終十二布度型のしたことがあります。 おなにの変人に関係している。 あなにのな人とには其の常時候のの東京に深在し世紀としている。 おなにのな人と

フョ 塵紙 白帆

此甲に限る

単印に限る 和茂洋行 電話五四三九番 移轉 智語

野中 の御用命は 大連市大山通 ・小林又七支店 大連市大山通 ・小林又七支店

罗五二三四話電

子館共御好次第御申付通如何樣

汽車賃往復三割引 にも簡易安價に

團體正割

します

湯崗子 千山登山に家族會に遠足に陽春 行樂の最好地滿洲第一の靈泉場 十溫泉

地下室食 直鐵 營省

春を夏の洋服 御種好に。こつくりさ。 若心地良き 洋服は先づ坂本で 御用意は今…













VZ 年 (25)

000000

新古

三拾錢増

天電六八四一番

三河町 池内 電話

学衣 裳 婚婦用 日底町 さかいや電五四三七香 相道具高信買入

満日案内

唐木

本長次郎

智字。進成教授

で歌りのものが散らかつてゐる意との隅ツこから引き出して、また食 淺大 次武

でなっても自分解手なこと計りなやってるたから繋かったが覧ったやっても自分解手なこと計りないのだが覧ったができまります。 しき 利き

までは自称キ

了度機さんおいで の一家(五)

が一生懸命になって戦合前一ケガー生懸命になって戦合前一ケガー生懸命になって戦合前をもん(東供監督)

でいまはりに据えた でのまはりに据えた でいまはりに据えた

んぢや苦からう」 ケチなんから手続りになっ なんて言ってるたのはど 店員入用

すものれえ。

果さんさ件さんさ 女能 東京カフェー 電二二五七七 東京カフェー 電二二五七七 東京カフェー 電二二五七七 本 数名募集 数名募集 大連市岩代町 電新三四一六

のて了ひますものれた」 を確認来されて、根密を危く 女中

趣まった

大いを

い風像かある。

せった。

東政 端附添婦募集及派遣迅速 昭和家政婦附添婦募集及派遣迅速 昭和家政婦附添婦募集及派遣迅速 上九九九 大 及邦文タイピスト短期養 大 及邦文タイピスト短期養 山縣通日本タイプライター會社 タイピスト後成

商通電車道四階建 大連案內社商品 參觀業債券買金融

高等下宿大勉强 洋間暖薬附 一人二食電燈風呂二七側五〇 大量 一人位 同一人 一人側 一人位 同一人 一人

讓分地宅

大連ヤマトホテル大連ヤマトホテル

宿料 食事夜具共月廿七日の割 合百事吟撰永滯在向勉强 無測板場 電話六一三四番 信濃町市場前 電五二九三番

・ 黄金 俸給者に迅速 一般金総恩公

牛乳

下宿 一ヶ月金二十二個より 一下宿 大連一大物張三 自修察第二一六大島 三十一四より 一次第一十四より 一次第二十二四十二 一次次 一大連十八四九 書話四五三七番 電話四五三七番 理科西蘭佛 利37万 10章 平 7 日前 エ



洋服頸窩裝 取扱行掌 🔽 資金最低

※月五日南京に於て召集される ※月五日南京に於て召集される ※フクを動するであらうと職様される である。 裏に 3 潜む物は何 その性質ご對外關係 國民會議 事は過半數を以て表決する。惟し

のさ引換に蓄脱れの知さものなのな引換に蓄脱れの知さられた

内以行十五

迎歡書性 すらさは傷中

こ、科に使りては新港の方は整二、科に使りては新港の方は整二、科に使りては新港の方は整二、診察庁高階級名のる為め夫に減速あることあり、高熱、重症又は沿線に離るため時間を急く方に到し続き、大利に使りては新港の方は整二、15によりり

し」さいふ一句に在る、関氏際は し」さいふ一句に在る、関氏際は 一度をの成中央軍な監測して獣女その覚 に入ってから砂臓上、張科剛氏が に入ってから砂臓上、張科剛氏が に入ってから砂臓上、張科剛氏が に入ってから砂臓上、張科剛氏が に入ってから砂臓上、張科剛氏が に入ってから砂臓上、張科剛氏が のは縦波である、縦辺の草製は駅 ・中である、此の縦波は政府を御東 ・中である、此の縦波は政府を御東 ◆大連が院の外来患者 診察験位に なすませて除ることが膨水になる。 なすませて除ることが膨水になる。

てるやう、程は診察の騒他に公ってるやう、程は診察の騒他の一つさなつたこさがその原因の一つさなつ ◆このやうな場合器だらく不快を 脱するものである、大連醫院に行く 不執切だこか、大連醫院は

行ふから不公平な取扱を爲すこを受付順に重れ罷き順次診察かた受付順に重れてき順次診察が

が一生懸論になって試合前一ケが一生懸論になって、 おいが、東京にしてみれば年々着 たが、東京にしてみれば年々着 たが、東京にしてみれば年々着 たが、東京にしてみれば年々着 たが、東京にしてみれば年々着

いちやないの、

「お書館?起も

に繋する電客管記した最高で であるか、それさも軽なる特徴 が此の説明に止まるかで配題の従 が出の説明に止まるかで配題の従 いれ、小桃さ やあざい 配さか工夫してみた 大連に勝味が無いや

なの興味を以て観惑せんさするも 情に一九三一年の支那の所究の ができる。東に飲て我 竹内この獅子ださ都ま でこの調子ださ都市野抗は結っているなどややり切れませんれ

支白國人の生命職が繋いてるるさころの治外法権をきうく 職職であるから支那が眼時間のたこさに分りのたこさに分りのたこさに分りのでないこさは分りのでない。要して然る時は国民政府は国民會議の手護を大説しない。果して然る時は国民政府は国民會議の手護を大説しない。果して然る時は国民政府は国民會議の手護を大説を表している。

今尾 大阪ご東京ごが決勝敗にぶつかりないこまは無い、販賣政策が強いねなって行かれた方が好いんだ、設賣政策から 落の深誠なのは地方に強い、大 代 正出 昨年東京が大連に貢ければ 六大學リーグ出の懲毛がごうし ても一般に門馬際族をせればな ちぬ破目になるので餘能に電影 ちぬ破目になるので餘能に電影 といぞ、全く四面差跡だ、一人實際東京へ試合に行つてみろ淋 、 厳國にゐるやうな氣持だのなら引つ叩かれてしまふのなら引つ叩かれてしまふのなら引つ叩かれてしまふ

東京さ大阪の野流戦でないる駄を育ってある 竹内 東京で課題者が出れば打た さが謎められてゐるのだ。だか ち一蹴また行中歩くあるのだ。だか

貨家

水便、風呂付書

貸家

邦文

た重大山通 知 期 養 は

貨家

別音町一二青柳農園入口 上十、六下六、四牛、二 中ででは、一大大、四十、二

岩瀬・熊原が軽は起いれ、然しゃ 一同うんピッチ んピッチングは大したも

漬崎 六大學の方

鉄 か 神文加茨 神 で で 大 が 神 大 連 常 陸 前 大 連 常 陸 町 本 で ミ 大 恵

水澤 いや内野も幅いよっ宮武君 で山下君だけはゴロでもスピー で山下君だけはゴロでもスピー

岩瀬 丁度ゴルフの恰好で打つの出しちまう

しも私」

住宅

貸間

き下宿

貨家

貸家

蕃

げなら、アレキサ 吸口の長いロシ! 身體に傾か儲でし で秘密のみいりにし をつきをうな金が に動だけに、こん に動だけに、こん の言葉具属 が直に火をつ

て、カーチャは織けて、 で、カーチャは織けて、か 連全的職人の呼騰を集めても、か をはない程の智慧を集めても、か はない程の智慧を集めても、か の気めにクリ 「全し

つたら、いつの間にかひどくあのしますまア、呼吸い根のカーチャ の母めにクリーム入りのお茶を選りさませたのは、「粉からカーチャリこませたのは、「粉からカーチャリこませたのは、「粉からカーチャリこませたのは、

古本 ピア 古本

れる」、アンナ・ワシロヴナ。種 古本 12.N

河島ミシン店 電六六八四十方文堂 電話四三五四番 一川芳文堂 電話四三五四番 一川芳文堂 電話四三五四番

ラヂ

貸家 古本高價質受市內但馬町二〇 夏受御報金 電話館所名 五七一通 電三二八一番

を下宿 初音町停留 第八六、三二十一番地 前がアア クサ 七二 療治お望みの方は 電話六六八八番へ

大連劇場隣模本藥局電七八六二

本のまった。 三十線年の終験で新得の製法に後 を美味で活業に新む好飲料迅速脱 大連市二季町一〇四 大連市二季町一〇四 大連市二季町一〇四 大連市二季町一〇四

お宅で

大チケ東ニニの六六大・大・ケー・時間修繕

道下 京川市

100 安部碳雄 主任 柴田博陽 ●話 セハ六七

アメリカントランプ

增田號貨物自動車

路支國交恢復せば

天

日系露人

は何處へ

○大祭院に入院中の様地かよさ

ルンペン群に迫る悲惨な運命

歸國も今更ら不可能

年のレコードである

職会方法職の出た 関なるため死後の勘論が出來2の 明なるため死後の勘論が出來2の 明なるため死後の勘論が出來2の 明なるため死後の勘論が出來2の

軟式野

球豫選

時から奉天公

川長春運輸事務所長 十二日

平漢鐵浴醬樂處長 十一日安

奉天地方 州務所長 十二日

英東地方專務所長 十一日 路織路局代表 十一日來

會は本年七月末日迄各地戦式野球優勝第一回襲選

一個五十段で引受け、時には一個五十段で引受け、時には一個五十段で引受け、時には一下で引受け、時には一下の一個五十段で引受け、時には一下で見が激しく普通ならば三

歩行中の人々にぶつつかる情

いては纏れもデッさしてるられいて、続けて行かう。の流は山の概治山の概治山の概治山の概治山の概治

しほころび染めるあの衝突ー消除

裾をまくり立てる何島の電

旅館業の猛競爭

宿泊料ナンセンス

であるさいひ、関性旅館も世間の

昨日の風

日

觀光季節に入り

ルンペンの最後は自然統一れるやう

がの手心を加へてあるため最後の での手心を加へてあるため最後の での手心を加へてあるため最後の での手心を加へてあるため最後の

中等學校以上の選

ヘハルピン

|支白系ロシャ | 其他に旅行し音識を受けたロシャルンペンに近 昨一ケ年間に観天から上版、大連

あるさいはれ中國から あるさいはれ中蘇國部 人は依然さして無國難者の露支國交が快復してしば系

鎭江山の探櫻會

滿開の頃を見計つて 本社支社主催で學行

り、水あり丘あり栃木あり自然の一 町里 は三白日 り 松下を見れるが見頭ださ安東からの花便 ます、月下同人連は其の郷伽中七日頃が見頭ださ安東からの花便 ます、月下同人連は其の郷伽中では動のジャズを経滅のコーラ つてゐるから近く日時、機機戦の放きれ鳥のが中ズと経滅のコーラ つてゐるから近く日時、機機戦の放きれ鳥の野隣といるの軽緩から解したほって発機會を開催する事にな 圖書館の業績

市場通り

に雪洞

不夜城を現出す

安東に又一つの美觀

を強へるに飛るであらう

昨年解食低下間原掘 減する必要上から締 に選連するが要上から締

私々白熱化す

原上減滑一四八、閲覧回数二七、一年間における増滑六、九四七一年間における増滑六、九四七

以上は既然監督のみであるが其外

あるがその後新たに現はれた候補でなると、新教州府職戦は火勢に繋加しつ、して居ち新教州府職戦は火勢に繋加しつ、して居ち

金載文、金宗源、

日から復活祭 接吻御免の鐘が鳴る

谷民政委員会時に際心室職民政治 順の提案

3

滿の春陽を祝て

で総治山の機術を銀年間で

が戦争軍撃闘り御

大時三十五分長衛 大時三十五分長衛 大時三十五分長衛 大時三十五分長衛

その結果で聴能の健康されつてるほしさに他駆射がされると云ふ、

北海連の質問に極めて

への形葉を聴くさ一面被もない人

連は脱までの深水を断って無の近く 遊る、木中観音神の性が 脱か時に 遊ぶ が である、今が 戦のシーズン 独天海の に 遊ぶ 如く 悠々 さもて 洗い こと ない こ

原単を動つて

薄氷を割つて浮ぶ

松花江支流の鴨の

吉長沿線

電な機器したか、……果々の知き 無限器なる一行は様々の夜どのが

北国の一隅奈後を

青聯も乘

八名(內地人十三

するか鬱咳を膨胀するかの二つた 二 うで療我がウンさもスンさもいは 同 のやうにしてゐるさうです▲不根に 二日間の廃資市を閉じたが

代表スケート選手が

解養を擦視を

▲歩兵第卅三聯隊特卒一行九十九 殿は自己製品の販売 減稅方

青年團幹事會

罪

原

はは一型一代の最終を はは、1000 には、1000 には、1000 には、1000 には、1000 には、1000 で一行と機能となった。は、1000 には、1000 には、100

各方面一笑に附す

五百風をしばりさつた事館がありと

田があり好成織裡に 田があり好成織裡に 田があり好成織裡に 田があり好成織裡に 田を閉じた 田を閉じた 田を閉じた 田を閉じた 田を閉じた 田を閉じた 一個がもり好成織裡に 一個いて總會を開催した解形 に木谷棒焼石が日本 「一個いて總會を開催した解形 「一日午後六時かち 「一日午後六時かち」 「一日午後六時かち 「一日午後六時かち」 **滿洲から持ち歸る麻雀に** でも骨牌税 變則的取扱ひ除かる

電燈料値下は困難 に努力

小野寺所長出張

版田 B回長禁轉 五房店警 で後任は長春より鈴木誠一氏水任

一座來る

本版の(悦及定裝製画の悦を附近する 一般では、一日午後一時 り 世樂 部に然て職催し五年度財産目録録 部に然て職催し五年度財産目録録 が表する。 の代及定裝製画の悦を附近する。 で二十二日午後一時 り 世樂

金融組合總會

瓦 房 店

▲ 施寄地方事務所長 所長會議列席の貸め十一日急行で赴連席の貸め十一日急行で赴連席の貸め十一日急行で赴連

五十銭、軍人守護、小人五十銭であったが今年は二日職を公廨す

美化運動大石橋修養團

大石橋

舞歌装造も全部職特のものた色。 ジャズミ動大島でした上流しい場

おいて、家族三名まで有効 滿日舷順支社

らコート開きた何ひ谷部の野抗飲· 天勝孃一行